

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	福祉行財政と福祉計画 (Social Welfare Administration and Planning)		
ナンバリングコード	E30902	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042451	クラス名	-
担当教員名	石橋 敏郎		
履修上の注意、履修条件	「福祉行財政と福祉計画」は社会福祉士国家試験科目であるので、抽象的な学説等の説明は避け、受験対策としての講義に徹したい。この科目は、範囲が広いので、必ず講義に出席して、その都度、理解を深めておくことが重要である。理解できない部分については、遠慮なく質問をすること。		
教科書	特に教科書を指定せずに、講義資料と模擬問題を作成して、それを解くことから始めたい。		
参考文献及び指定図書	『福祉行財政と福祉計画(第5版)』(中央法規出版)、『福祉行財政と福祉計画(第3版)』(弘文堂)等		
関連科目	社会福祉原論、地域福祉論、高齢者福祉論、障害者福祉論、地方財政論		

○基本情報			
授業の目的	国家試験の中でも「福祉行財政と福祉計画」は福祉系学部・学科の学生が最も苦手とする分野といわれている。それは、取り扱い範囲が広いことと、行政の仕組みや国と地方公共団体の財政の分担の複雑性、加えて、高齢者、障害者、児童、生活困窮者、地域住民と対象を異にする各種福祉計画の存在など、多種多様な内容が含まれているからである。行財政の仕組み、地方分権の動き、各種福祉機関と専門職の役割、福祉計画の意義と内容等について、基礎的な知識を身につけることを目的とする。		
授業の概要	分かりやすい講義に努めたい。国家試験受験に役立つように、講義資料と過去の試験問題と担当教員が独自に作成した模擬問題をもとに、それをまず受講生に解かせ、その後で解説をするという方式で講義を進めることにする。受講する者は、あいまいなまま先に進むことなく、その都度理解できるまで質問して、知識を確実にしておくこと。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	受講態度が良好であるかどうか。			20点
【知識・理解】	社会福祉に係る行財政および福祉計画について理解している。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	福祉計画策定の技法について説明できる。	10点		
【思考・判断・創造】	福祉行政の推進のための課題、これからの福祉計画について考察することが出来る。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。	

○その他	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	福祉行財政と福祉計画 (Social Welfare Administration and PI)	授業コード	E042451
学修内容				
1. 社会保障・社会福祉の理念 社会保障・社会福祉の理念である「社会的責任の原理」について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
2. 社会保障行財政の歴史 労働者保険から、社会保険へ、さらに社会保障へと動いていく歴史的発展過程を学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
3. 社会保障行財政の現代的変容 社会保障財政がひっ迫している現在、社会保障行財政はどのように変容してきているのかについて学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
4. 福祉行財政における国と地方公共団体の関係(その1) 国と地方公共団体との事務分担(法定受託義務や自治事務など)について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
5. 福祉行財政における国と地方公共団体との関係(その2) 国と地方公共団体との財源負担関係(国税、地方税、地方交付税など)について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
6. 福祉行財政を担当している機関。 国や地方公共団体で福祉行財政を担当している諸機関について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
7. 福祉行財政における地方分権 地方分権一括法から続く一連の地方分権化、特に市町村への権限移譲について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
8. 福祉行財政を担う専門職。 社会福祉士、介護支援専門員、ケースワーカーなどの福祉専門職の役割について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	

○授業計画	科目名 担当教員	福祉行財政と福祉計画 (Social Welfare Administration and PI)	授業コード	E042451
学修内容				
9. 福祉行財政における福祉計画の意義 福祉計画はなぜ必要なのか、その意義と役割について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
10. 高齢者にする福祉計画 老人保健福祉計画から介護保険事業計画まで、高齢者に関する福祉計画の意義とその内容について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
11. 障害者に関する福祉計画 障害者計画、障害者福祉計画など、障害者に関する計画の意義とその内容について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
12. 児童に関する福祉計画 エンゼルプランから次世代育成支援行動計画まで、児童に関する計画の意義とその内容について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
13. 地域福祉に関する福祉計画 地域福祉計画、地域福祉行動計画など、地域福祉に関する計画の意義とその内容について学ぶ。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
14. 福祉計画の評価 各種福祉計画はどのように評価され、見直されていくのか、その過程を学習する。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
15. 福祉行財政と福祉計画の将来展望 社会保障財政が窮迫する中、社会保障制度の見直しが行われている。このような中で、福祉行財政と福祉計画はどのようにあるべきか、その将来展望を探る。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
16. 期末試験 筆記による論文試験。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	